

多焦点眼内レンズについて(その1)



院長 大塚 慎一

院内誌第22号をお届けします。

今回から2回にわたって多焦点眼内レンズのお話をします。

白内障手術の時に、眼内に挿入する人工のレンズには、「単焦点眼内レンズ」と「多焦点眼内レンズ」の2種類があります。

2007年までは、眼内レンズと言えば、単焦点眼内レンズのことで、これがほぼ100%を占めていました。2008年から「多焦点眼内レンズを用いた白内障手術」が厚生労働省より先進医療として承認されました。当院は、先進医療実施施設として厚生労働省から認定を受けています。

【単焦点眼内レンズと多焦点眼内レンズの違い】

単焦点眼内レンズでは、ピントの合う範囲に制限があり、遠方にピントを合わせた眼内レンズを挿入すると、運転・炊事・テレビなどはメガネなしで見えますが、近見作業（特に30cm）は老眼鏡が必要となります。逆に近方にピントを合わせた眼内レンズを挿入すると、近見作業は老眼鏡の必要がなく、遠方を見る時に遠用メガネが必要になります。単焦点眼内レンズは、レンズ自体がシンプルな構造のため、見え方の違和感が少ないというメリットがあります。費用は、健康保険が適応されるため、1割負担なら片眼約2万円、3割負担なら片眼6～8万円

となっています。

一方、多焦点眼内レンズは、遠方と近方の広範囲にピントが合う遠近両用眼内レンズです。遠方のみでなく手元も見えやすくなるので、老眼鏡の必要性が大幅に減ります。多焦点眼内レンズは、高機能眼内レンズですが、それ自体構造や設計が複雑なため、単焦点眼内レンズと比べると、コントラスト感度（映像のシャープさや微妙な濃淡の違い）の低下や、見え方に慣れるまで数週間、人によっては数か月かかるなどのデメリットがあります。また夜間、光に対し、にじんだり火花のように散って見えたり（グレア）、輪がかかったような現象（ハロー）が起こることがありますが、時間がたてば気にならなくなる場合がほとんどです。

最近では、これらのデメリットを補う新しいタイプの多焦点眼内レンズ（焦点深度拡張型：EDOF）が登場し、日進月歩で進化しています。多焦点眼内レンズは、保険適応外で自費手術となります。費用は、片眼40～45万円（施設により金額は異なります）ですが、先進医療実施施設では、生命保険の先進医療特約に加入していれば、手術費用は、全額保険会社から支払われます。

今回は、多焦点眼内レンズの種類とそれぞれの長所と短所、多焦点眼内レンズに向いている人（適応の人）、向いていない人（非適応の人）などについてお話をします。

院長 大塚 慎一 記

第4回 眼科スタッフカンファランス(GSC)

2018年3月31日(土)

第4回GSCが、愛媛県今治市の正岡眼科で開催されました。
当院の看護師長 井上が発表を行いました。

〈本人のコメント〉

今回の眼瞼下垂についての発表は、看護学会に続いて2回目でした。

発表するために一つの病気について深く調べることで自分自身のスキルアップにもなり、良い経験となりました。今後も患者様のために知識を増やし、正しいインフォームドコンセントを行い、理解して治療を受けていただけるように日々努力したいと思っています。



院内講演

広島大学 近間先生、 出口先生の講演・塗抹検鏡実習

1/13
(土)

広島大学病院 診療教授の近間 先生に感染性角膜炎の診断と治療についてご講演いただきました。

講演の後には、出口先生とともに塗抹検鏡実習を行っていただきました。



三重大大学 杉本先生の講演

2/10
(土)

三重大大学 眼科講師の杉本先生をお招きし、糖尿病の眼合併症である糖尿病黄斑浮腫についてご講演いただきました。

また患者様のカルテを見ながら症例検討会を行いました。





多焦点眼内レンズの研修に行きました

2月16日(金)

横浜のみなとみらいアイクリニックでは、最新鋭のフェムトレザーを用いた白内障手術と眼内レンズの選択方法について学びました。



3月1日(木)～2日(金)

福岡の藤嶋眼科クリニックは、スタッフも眼内レンズ選択に参加して、医師と患者の間で見事な仕事をしており、当院でもこれを参考に実践していきたいと思います。



講演発表

1/28
(日)

日本眼科手術学会のコミュニティセッションで当院のORT後藤が井上眼科病院の森山医師とともに座長を務めました。



2/15
(木)

横浜市立大センター病院眼科の門之園教授から招待され、横浜の眼科医とスタッフの勉強会で、当院ORT後藤が講演を行いました。二日後の2月17日には、練馬区眼科医会副会長の堤先生から招待され、練馬区眼科医師と眼科スタッフの勉強会でも講演を行いました。眼科医とスタッフが一緒に勉強する会が全国的に増えており、スタッフと医師が知識を共有することで、より良い診療が可能になると感じます。



2月15日
門之園教授(左から2番目)と一緒に



2月17日
堤先生(右から2番目)と一緒に

平成30年 当院の学会参加一覧<1月～4月>

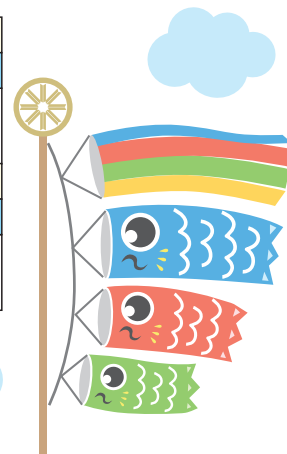
1/26(金)～ 28(日)	日本眼科手術学会(東京)	1名
2/17(土)	練馬区の眼科スタッフ・医師の為の勉強会(東京)	1名
3/3(土)～ 4(日)	生涯教育講座(福岡)	5名
3/10(土)	おっしょい眼科手術の会(福岡)	4名

3/24(土)	豊の国眼科フォーラム(大分)	3名
3/31(土)	眼科スタッフカンファランス(愛媛)	8名
4/14(土)	九州眼科アカデミー(福岡)	2名
4/19(木)～ 22(日)	日本眼科学会総会(大阪)	4名

各専門医日程

当院では全国より各分野の専門の先生を招いて診察や手術を行っています。専門医診察・手術は早い時期で予約が埋まってきますので、診察や手術をご希望の方は、スタッフまでご連絡ください。

5月	8日(火)	5月	25日(金)	6月	29日(金)	8月	18日(土)
	眼瞼手術 (横浜)岡田眼科 副院長 宮田先生		糖尿病網膜症外来 東京大学 准教授 加藤先生		硝子体手術 東京女子医科大学 教授 飯田先生		硝子体手術 大阪労災病院 副院長 恵美先生
	11日(金)		9日(土)		13日(金)、14日(土)		18日(土)
	白内障手術 (東京)井上眼科病院副 院長 徳田先生		眼瞼手術 京都府立医科大学 渡辺先生		緑内障手術・外来 愛媛大学 准教授 溝上先生		眼瞼手術 京都府立医科大学 渡辺先生
6月	19日(土)	6月	23日(土)	7月	21日(土)		
	涙道内視鏡手術 (岡山)すぎもと眼科 院長 杉本先生		緑内障手術 東京大学 教授 相原先生		涙道内視鏡手術 (岡山)すぎもと眼科 院長 杉本先生		



大分県盲人協会 歩行訓練士 神屋先生の講演

3/22
(木)

大分県盲人協会の視覚障害生活訓練等指導者（通称・歩行訓練士）神屋先生をお招きし、院内講演をしていただきました。

歩行訓練士は、白杖を使っての歩行訓練を行いますが、様々な便利グッズの紹介やそれらを使って日常の生活を過ごしやすいするための指導も行っているそうです。私も患者さんの見えにくく困っているようなことがないか等を聞き出し、情報を提供し患者さんがよりよい生活を送れるような懸け橋になりたいと思います。

視能訓練士 吉武



診療時間の案内

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ～ 12:30 ※受付は 7:30～12:00	大塚 今木	大塚 今木	大塚 今木	大塚 今木	大塚 今木	大塚 今木／中野
午後 14:00 ～ 18:00 ※受付は 12:00～17:00	大塚	中野	今木 中野	午後 休診	今木	午後 休診
手術 (午後)	白内障	白内障 硝子体	白内障	—	翼状片 眼瞼 緑内障	注1

注1 専門医による硝子体手術・眼瞼手術・涙道手術を随時行っています。
※コンタクトレンズの作製は、予約制となっております。
事前に電話にて御予約をお願い致します。

糖尿病の 講演会に参加しました

3/20
(火)

糖尿病の講演会に参加し、糖尿病の合併症について勉強してきました。主な内容は糖尿病性腎症についてでした。

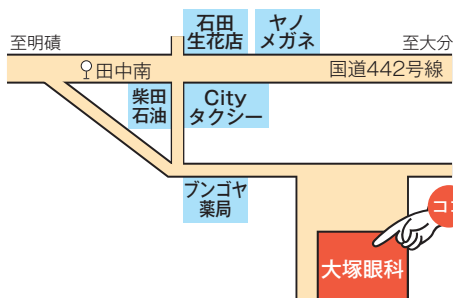
糖尿病性腎症は糖尿病の3大合併症の1つです。糖尿病性腎症が進行し、腎機能が悪化すると透析治療が必要になります。できるだけ早期に発見し、適切な治療を受けることが重要であることを学びました。糖尿病合併症の恐ろしさを患者さんに伝えていきたいと思います。

視能訓練士 赤峰

ホームページ紹介



大塚眼科のホームページには院長の挨拶をはじめ、診療時間の案内・手術案内や、交通アクセスなどが掲載されています。



広報部編集委員

井上
氏川
野崎
小野
本幡

大分市 大塚眼科

検索

インターネットにて検索してみてください

ケータイはこちら

大塚眼科モバイルサイト

